

雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel:045-894-7474

もう三年経ちます

早いもので、この雑木林ファンクラブの基地へ来るようになって3年が経とうとしています。荒井沢で参加している農業ボランティアの先輩からこの横浜の都会では考えられないような山の作業ができる話を聞きました。

たき火が出来るかもしれない。子供の頃、長野県の上伊那にあった父親の実家は囲炉裏もかまどもあり火を身近に使っていました。それ故なのか大人になってもいつまでも火に愛着を感じ、結婚してしばらくは横浜の自宅の小さな庭で紙くずや剪定した木の枝等でたき火をしていました。不便さを考えずに、いつかたき火のできるような所に住むことができればと思っていました。

やはり、自然の木の燃える匂いは心地よいものです。特に杉の枯葉が燃える時に出す香りは何よりも心をひきつけてくれます。人によってはその素晴らしい香りの区別さえ出来ないそうで信じられません。囲炉裏やかまどの火付けに杉枝を使っていたので、その香りをかぐと夏休みに行った田舎の事がいろいろと思い出されます。田舎屋の広い前庭、リンゴの木に登りリンゴをかじった事、まだ硬い桃も美味しかった事、食べきれないほどのトウモロコシ、五平餅の大食い競争、楽しい事ばかり思い出されます。もう二度と体験する事のできないことばかりです。

私にとって、子供の頃の楽しかった事を身近に感じさせてくれるのが雑木林ファンクラブです。周りからボランティア活動といわれてもピンときません。木を切り、竹を切り、工作して道具を作り使う、下手は下手なりに楽しいものです。先輩の皆様の優れた技術、創造力、実行力、豊富な知識・経験等に毎回驚かされながらも楽しい経験をしています。これからも怪我に注意して、大いに楽しむ為この山に通ってこようと思います。

赤羽 義郎



1. 9～10月の活動報告

- ① 9月25日(土)晴 14名 製材・炭材作り、炭小屋整備
- ② 10月2日(土)晴 22名 トウネズ間伐(ミズスマシの池周辺ほか)、小屋脇(シイタケ場奥)人工林草刈り、キャンドルナイト出展作品作成
- ③ 10月9日(土)雨 20名 20周年式典延期、炭小屋整備
- ④ 10月16日(土)晴 16名 炭焼き(本窯・ドラム缶窯)～17日、竹林整備、運営会、ゴロ報印刷製本
- ⑤ 各水曜日ほかに準活動日として木工作业を実施



いよいよ、20周年記念門柱が少し見えてきました(お楽しみに)。

画像募集中

画像募集中

観察の森で撮った画像で使えるなと思ったモノは勝手にメールしてください(会報のみで使います)。

2. 10月度運営会報告 –10月16日開催–

- ① 11月度作業打ち合わせ –3項参照–
- ② キャンドルナイトinさかえ2010: 11月20日(土)15時から本郷台駅前広場(点灯は17時)
–雨天順延の21日(日)にも参加する–

3. 11月度活動予定

- ① 10月30日(土) 準活動日
- ② 11月6日(土) 炭小屋そばの人工林調査整備、トウネズ除伐、製材(午前) 味噌汁当番: 鈴木・大庭・張間
- ③ 11月13日(土) たい肥マス作成(クヌギ林)、竹林整備 同: 大越・山本・鬼塚
- ④ 11月20日(土) たい肥マス作成(クヌギ林)、トウネズ除伐、運営会 同: 村松・佐野・工藤
- ⑤ 11月27日(土) 炭小屋整理、道具手入れ、クヌギ林管理作業。同: 加藤・関根・(小林)
- ⑥ 毎水曜日: 準活動日

4. 編集後記

- ① 今月の巻頭コラムは赤羽さんをお願いしました。記事にも書かれているようにZFCに参加されて3年が経ったそうです。もうすっかり無くてはならない頼りになる存在になってらっしゃいますので、まだ3年なの!? という感じですね。これからは焚き火の楽しい季節になりますので、注意しながら楽しみましょう(子供の頃のように、「焚き火に当たってきた(寄り道した)でしょ! 」と母親に咎められることもないでしょう)。
- ② 10月9日(土)のZFC20周年記念式典は雨天予報でしたので、止む無く23日に延期しました。「女心と秋の空」(元来は「男心と秋の空」らしいです)と言いますが、太陽がお多福風邪をひいたかのように暑かった夏だったにも関わらず、季節はしっかり秋の幕に顔を突っ込んだようです。
ところで、一部の方に中止の連絡が付き、ご迷惑をお掛けしました。「緊急連絡網」をお持ちでない方は、炭小屋入口の左ポストに置いてありますのでお持ち帰りください(ネットでもお渡しできますので関根まで)。
- ③ キャンドルナイトに出展される作品の製作が佳境を向かえています。最終形がどのようになるか凄く楽しみです。テーマは「囲炉裏」です。その頃は恐らく寒くなっているもの悲しい季節でしょうから、イベントを盛り上げる上でも積極的にご参加ください。

以上